



伝統的酒造りシンポジウムの開催

日本の「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを記念し、地震や豪雨で被災した酒蔵関係者を支援する意も込めて、文化庁が「**匠のわざと日本の文化を未来へ紡ぐ伝統的酒造りシンポジウム**」を開催

- 日時
- 会場
- 内容

令和7年1月25日（土）・26日（日）

金沢港クルーズターミナル（入場無料）

・オープニングセレモニー

都倉文化庁長官のほか、石川県知事、日本の伝統的なこうじ菌を使った酒造り技術の保存会会長らが出席。

・著名人によるトークセッション

中田英寿氏、生江史伸氏、岩田渉氏による日本酒トークや、地元酒蔵が登場し、被災した酒蔵の復旧・復興に向けた思いを語ります。

・伝統芸能の上演

御陣乗太鼓、加賀獅子舞、箏の演奏など。

・地酒の飲み比べ体験

能登を含む酒蔵や、杜氏の手で造られたお酒を飲み比べできます。

・文化体験

九谷焼上絵つけ、水引箸置き制作などを体験できます。



なかた ひでとし
中田英寿氏



なまえ しのぶ
生江史伸氏
(レフェルヴェンス)



いわたわたる
岩田渉氏
(THE THOUSAND KYOTO)



詳しくはHPより



産業政策課 076(225)1507

北陸三県連携による県産品の海外販路開拓



- 北陸三県知事の懇談会(令和5年11月)を契機に、三県が連携し、県産品の海外販路を開拓。
- フランスの食品展示会やシンガポールの酒イベントに共同で出展し、好評を得た。
- 明日(17日)から、シンガポールで北陸フェアを実施し、さらなる販路開拓に繋げる。

①フランスの食品展示会への出展

期間：令和6年10月19日(土)～23日(水)
実績：バイヤー約1,000人が来場、7社12商品が成約
※ほか商談継続中



②シンガポールの酒イベントへの出展

期間：令和6年11月15日(金)～17日(日)
実績：約3,000人が来場、155万円を売り上げ



③シンガポールでの共同プロモーション（北陸フェア）

明日から開催

・高級レストランで三県の日本酒や食材を活用した特別メニューを提供

期間：1月17日(金)～2月28日(金) 会場：4店舗（1週間程度ずつ、順次開催）

※初日は、現地バイヤー、メディア、インフルエンサーを招聘したオープニングイベントを開催

能登半島地震のパネル展示、能登の酒蔵をはじめとした日本酒を提供、輪島塗などの伝統的工芸品を展示



現地高級レストラン

・富裕層が多いエリアの現地・日系スーパーマーケットに三県産品の販売コーナーを設置

期間：1月17日(金)～3月16日(日) 会場：2店舗

※日本酒の試飲会を開催、能登半島地震のパネル展示



現地日系スーパーマーケット

カーボンニュートラルに向けた主な取り組み

CO2排出量の割合が全国よりも高い家庭・運輸部門の排出量削減のため、家庭等での再エネ導入の拡大やモビリティの電動化促進の取り組みを推進

町並み景観に配慮した地域の脱炭素化

- ✓ 家庭部門での再エネ拡大の促進のため、県内全域を対象に、**住宅の太陽光パネル設置に対し助成**
- ✓ 加えて、**太陽光設置家庭から重伝建へ再エネを供給する仕組みを、モデルとして構築**
(石川県、金沢市、北陸電力、北國銀行の4者が連携)

助成対象：県内の住宅への太陽光発電パネルの設置費

助成金額：7万円/kW（最大35万円）

申請件数：58件（1/15時点）※1月末締切



パネル設置への助成【県】



単価増を抑制【市・北陸電力】

再生可能エネルギー

観光地の魅力向上



重伝建地区：東山・主計町

売電量に応じポイント付与【北國銀行】

余剰電力を売電

路線バスへのEV導入に向けた冬期実証

- ✓ 雪道の走破性や寒冷時の航続距離など、**雪国における路線バスのEV化に向けた課題を検証**

実施期間：1月20日～26日、28日～2月3日（14日間）

運行期間：金沢港クルーズターミナル～金沢駅～野町駅

運行車両：いすゞ製 国産EVバス「ERGA（エルガ）」

乗車体験モニターの申込状況：336名（1/15時点）



【報道機関向け試乗会】

1月17日 8:30～（金沢港クルーズターミナル～県庁）



車内はフルフラット

